



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第52号

発行 幌延町議会
編集 議会報発行特別委員会
電話 01632-5-1111
FAX 01632-5-2971

第2回 定例 幌延町議会

3月5日
～3月9日

第2回幌延町議会定例会が議員全員出席のもと3月5日開会され議長から諸般の報告に続き、町長、教育長の行政報告のあと6氏が一般質問を行った。今回の議会に提出された議事案件は、同意1件、議案23件、発議3件が可決、同意された。

おもな内容	平成21年度補正予算	2
	平成22年度当初予算	3
	常任委員会活動	5
	地域の課題をとらえて 一般質問	6
	議会の動き	8
	編集後記	8

平成21年度 補正予算 歳出の質疑

問 まちづくり事業補助金について、町長は産業振興等町の活性化のため積極的に予算付けをしたが該当はなかったのか。

答 相談を受けたが補助規則等から検討を要するものがあり本年度はなかった。

問 トナカイ観光牧場整備事業費6百40万円の新規計上について何を整備するのか。

答 動力盤の改修費である。

問 教育費の各学校内LANシステム改修事業費1千3百万円の計上について6月補正で既に整備しているが更に追加補正で何を改修するのか。

答 パソコンの整備更新計画については6月補正で児童生徒用51台、教師用42台の計93台を整備し、更に必要とする32台を購入し計画どおり終わります。

問 基金管理事業の積立金9千5百20万円の増額について、将来の負担、軽減のため減債基金の2千1百20万円と、ふるさと創生基金7千4百万円の原資について、また何故ふるさと創生基金の方が多いのか。

答 この原資については留萌広域行政組合が3月31日をもって解散する事になり幌延町が出資していた基金が返還されこれを充てた。またふるさと創生基金に多く積立てるのが適正な基金の運営と考える。

問 農業施設補修事業補助金について2百万円減額されているが該当地区がなかったのか。また土地改良事業等国の農業関連予算も厳しい状況にある中でこの補助金の運用を大いに利用させるべきでないか。

答 残念ながら21年度は申請がなかった。次年度は更に各集落と協議をし活用される様PRをして行きたい。

総括の質疑

問 新政権による子供手当について、報道では6月支給と言われているがどうか。

答 幌延町として予定どおり6月支給に向けて準備している。

問 北海道防災情報通信設備整備事業について気象庁から一方的に送られてくるのか、こちらから警報を発信する様なシステムなのか。

答 国からの一方的な情報伝達になる。またこの防災情報施設ですが異常気象の他、国防に関する事も緊急システムを通じて市町村へ伝達されます。



新一年生の下校風景

総額 59億4,295万円

一般会計 43億0,000万円

齋賀弘孝氏を予算特別委員長に選任し、8・9日の両日で審査の結果、原案通り可決

平成22年度各会計予算

歳出の質疑

(主要部分のみ)

◆総務費◆

植村委員 選挙費について。選挙区の統合を反映した予算か。

藤井主査 まだ確定していないので従来通りの予算です。

高橋委員 負担金について。留萌町村会については74万5千円の負担でしたが、宗谷に移管すると約7倍の4億9万6千円の支出になるが何故か。

藤井主査 宗谷町村会に打診したところ一括で計上している自治体が多かった。各担当で見えていた予算を総務課で一括計上したため増額となった。

◆民生費◆

植村委員 長寿祝いについて。食料費23万5千円を計上しているが、今年度から会場が国際交流施設に変わるが従来の形でできるのか。

大村主幹 食料費の内訳については検討段階です。作る場所の問題もあり参加

人数等も考慮し検討していく。

◆衛生費◆

西澤委員 保険推進事業について。特定健康診査等69万3千円は12月に減額補正したが22年度も予算規模は変わっていない。いかに受診してもらおうのかその方策について伺う。

細野保七所長 これまで受診に繋がっていない方、何年も健診していない方に個別に対応し、受診者を増やしたい。

◆農林水産業費◆

無量谷委員 地理情報システム構築事業について説明を。

足達農委局長 システム周辺機器の老朽化が激しく、パソコン4台を2台に、プリンター4台を1台に削減しつつ更新する。

西澤委員 有害鳥獣駆除について。増額は有害鳥獣の単価を上げたのか、予定捕獲数を増やしたのか。

羽田主査 前年度の捕獲数を考慮し、予定捕獲数を増やした分の増額です。

佐々木委員 農地開発費

について。政権が変わり土地改良費が削減される中で予定通りの事業費が見込まれているのか。

桜井主幹 道のバックアップもあり満度に予算が付いた。

◆商工費◆

鷺見委員 トナカイ観光牧場の入場料無料化から一年が経ち今の感想と今後の予定について。

宮本町長 良かったと思っている。宗谷管内の方々とも連携して行きたい。

◆消防費◆

佐々木委員 防災計画について。住民の方に必要な部分を配布するとの説明があったがいつ頃になるか。

宮古主幹 6月末ぐらいまでにはハザードマップを作成し、地域防災計画の住民にお知らせする部分も織り込み配布したいと考えている。

◆教育費◆

菅原委員 全国の学力学習状況調査をした結果、幌延の子どもたちは知識技能の習慣は概ね満足できるが、物や資料を活用する力の育

成に課題があるという。学校現場から上がってきた要求に対して、この予算付けで問題が無かったか。

兜教育次長 授業に対し理解を深めていく支援や、教材費においても随分整備ができ、いわばきめ細かな予算付けができたと思っ

高橋委員 給食センターをオール電化にしても光熱費は余り変わらないとの説明だったが4百万も増額になっているのはどうしてか。

秋山主幹 ボイラーの撤去関連経費を光熱水費に乗せて計上したため増額となっている。

鷺見委員 教育振興費について。幌延地区と問寒別地区の学校はへき地何級なのか。また、補助金は。

兜教育次長 幌延は1級地。問寒別は3級地です。3級地以上については高度へき地手当が支給される。

歳入の質疑

(主要部分のみ)

鷺見委員 22年度の町税の減額予算の具体的な根拠は。

早坂主査 21年度は大規模な建築もあり家屋は2百50万円の増額を見込んだが償却資産の減額分1千1百60万円が主な要因です。

鷺見委員 地方交付税は補正等でここ2年間増額されてきているが臨時財政対策債の今後の見通しは。

藤田主幹 臨時財政対策債は今年より従来の算出方法を変更し財政力の低い団体には地方財政計画に基づき更に乗せられることになり、7月の交付税算定時に確定されてくると思う。

無量谷委員 町税滞納繰越金額5百37万円の納税対策を伺います。

堤会計課長 滞納者と相談をしながら分納方式など納税者の生活状況に合わせて町税の収納に努めている。税の公平性の観点からも不公平感の出ない様、収納対策委員会や管内的な研修会

などに参加し担当者も勉強中ですのでご理解いただきたい。

総括の質疑

菅原委員 平成20年度から24年度までの一般会計の中期財政計画が提出されているが政権交代等で推計に変化があると思うが再提示する考えはないか伺います。

堤会計課長 平成20年度中期財政計画作成当時から世界的経済危機や政権交代など国や地方に対する財政出動が大きく変わり中期財政推計に苦慮している。国の財政事情により将来推計が不透明な状況もあるが、政府の動きなど情報を見据えて中期展望を示したい。

菅原委員 電源三法交付金について、既定の交付規則を柔軟に地元でより使い易い交付金となる様関係省庁への要請行動をすべきでないか。

宮本町長 現状では、病院や保育所の人件費に充当している。交付規則に準じて

いるが、一方で会計検査院の指摘を受けない様配慮している。

小山副町長 交付金の自由度を高めようと事業仕分けでも検討されているが町として新たな要請行動をとって行きたい。

西澤委員 保育所の時間延長に関し、父母会または個別相談で意見を徴収されたのか伺います。

瀬戸町民課長 次世代アンケートの中で意見として午後6時までとか逆に早朝とかの意見はありましたが今年度は定員60名に対し、それに近い応募があり町としては支援体制を充実させるべく保育士7名体制と考えております。延長保育を導入すると更に人員や保育料を加算しなければならず現在国の基準の85%程度の保育料金でも利用者から高いとの意見もあり、今後の認定保育園設置に向けての検討課題と考える。従って現在の対応状況でご理解を願いたい。

無量谷委員 町内高齢者のための共同生活施設が必

要と思うが町長の考えを伺いたい。

宮本町長 現在こざくら荘でのデイサービスもおこなっているが、介護度の低い方や独居者の方が共同生活できる施設については、今後、幅広く町民の目線に立って検討して参りたい。

高橋委員 第5次幌延町総合計画や教育行政方針の中でも青少年の体力や運動能力の向上に努めるとありますがスポーツ少年団への対外試合など町バスの使用等支援が必要と考えるが伺います。

兜教育次長 基本的には全道大会の参加には町バスを配置している。19万2千円はスポーツ少年団本部への補助金と全道大会への参加経費7万円として計上している。

西尾教育長 スポーツ少年団のバス利用については、町側と充分協議をしていきます。

吉原委員 今年度から幌延町健康増進計画の策定に取り組むとあるが65才以上の高齢者への健康管理対策

をどう進めて行くか。

瀬戸町民課長 例年通り各老人クラブ等への保健師の派遣による健康相談や住宅訪問等で介護状態になる前の健康管理を進めている。**細野保セ所長** 高齢者の方は老人福祉計画や介護保険計画等できめ細く対応しているが、4月当初特定高齢者生活機能評価で回収されたデータを元に事業を展開し一定以上の状態改善をしていますし残りは住民名簿を見て適時訪問・電話連絡等を見ながら安否確認を進めている。



心象館の展示替風景

特別会計

◎ 幌延町立北星園特別会計

予算について

【歳入】

植村委員 受託事業収入の大幅な減額理由は何か。

小西北星園長 トナカイ

観光牧場花壇管理業務の一部を除いて管理業務の中止をしたため。

【無量谷委員】

生産物収入の中で合鴨の生産状況とその他の農産物はどのようになっているのか。

小西北星園長 加工関係

では昨年同様4千羽体制ですがソーセージを中止してベーコンのみの加工とする。花・野菜の苗関係は民間店

との競合もあり収入が落ちている。よって前年度予算より1百25万7千円の減額となっている。

【総括】

佐々木委員 開設当初からある職員住宅の利用状況について伺います。

小西北星園長 現在4棟

所有しており1棟は職員2名が入居、もう1棟は短大

生や専門学校生の研修宿泊所として利用、のこり2棟は老朽化が激しいので今回解体します。

植村委員 北星園利用者の就労の場を町としても確保していく必要があるのではないか。

小西北星園長 グループホーム等で街の中で生活する方が30名ほどいますが就労の場が少なく北星園の方で確保しなければならず今回、就労継続支援事業の整備として、農業機械の導入とビニールハウス2棟の造

設など収入増が期待でき、

将来利用者の還元金に結びつければと思っている。

◎ 幌延町国民健康保険特別会計予算について

【総括】

鷺見委員 国民健康保険税の最高限度額73万円の引き上げ方法について伺いたい。

早坂主査 今回税率の改正に伴い医療給付部分50万円、後期高齢者支援部分13万円、介護納付金で10万円の限度額に改めるものです。

瀬戸町民課長 今年度の税率算定が決まり次第条例を改正し22年度、23年度で法定限度まで持つて行きたい。今年度は4万円です。

鷺見委員 所得3百万円

でいくと保険税率が10%を超え、先進国の中でおそらく最高の高さだと思ってしまう。町として減免措置を新たに作らなければ支障がでてくると思うがどうか。

瀬戸町民課長 国保税

計の繰越が見えてくる段階で税率の軽減に向け算定し提案したい。町独自の軽減は難しいのではないか。

◎ 幌延町介護保険特別会計予算について

【総括】

鷺見委員 介護保険料の今後の収支見込みはどうか。

村上主査 21年度の決算

見込みは若干の繰越で終わる見込みですが来年以降の特別養護老人ホーム増床等で関連給付費の増が考えられるが第4期計画で21年度から23年度まで介護保険料を定めている。

佐々木委員 個別合併浄化槽設備事業が今年度で終わりますが今後どのように対応していくのか伺います。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

◎ 幌延町下水道事業特別会計予算について

【総括】

佐々木委員 個別合併浄化槽設備事業が今年度で終わりますが今後どのように対応していくのか伺います。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

◎ 幌延町下水道事業特別会計予算について

【総括】

佐々木委員 個別合併浄化槽設備事業が今年度で終わりますが今後どのように対応していくのか伺います。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

◎ 幌延町下水道事業特別会計予算について

【総括】

佐々木委員 個別合併浄化槽設備事業が今年度で終わりますが今後どのように対応していくのか伺います。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

渡部主幹 公共下水道地区外の合併浄化槽事業です

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

がまだ多くの戸別で未施設と思われま。今年でいったん区切りとして終了し今後何らかの対策が必要と思う。

常任委員会 報告

第2回総務文教常任委員会

平成22年3月9日

(1) 地域活性化・公共投資臨時交付金について

3月の補正予算を終えて、

更にきめ細かな臨時交付金1千8百96万3千円が追加になり、総額で9千9百64万円となります。

公共投資臨時交付金事業は最終的に5億7千7百40

万円の交付がありました。(2) パソコンで使用している違法コピーソフトウェアについて

幌延町はM社、A社の2つの会社で合わせて35本がありましたので対応について今後協議していきます。

質疑

問 違法コピーソフトウェアの賠償費を見ているのか。

答 各社の調査結果の回答がこなければわかりませんが最後の協議となる。

問 最近購入したパソコンにこれらのソフト購入費は入っているのか。

答 情報認識が甘くソフトウェア購入費は含まれていない。



議会報発行特別委員会の編集風景

地域の課題をとらえて

6氏が一般質問



高橋 秀之

Q、二期目の選挙公約の実績の評価は
A、一番の懸案事項の北星園改築は実現・他の公約は今、取り組んでいる



植村 敦

Q、ほろのべ町自律プランでの財政経費削減率は。
A、数値では表現できないものもあるが削減目標の約50%程度です。

質問 情報の公開と町民との対話をもう少し町民が参加しやすい方法にしては。

町長 きめ細かに町政懇談等を行っているつもりですが、更に工夫、努力をします。

質問 世代間の交流を通じて高齢者の社会参画を進めるとありますが。

町長 商工会・農協の青年部の協力をいただき、お年寄りの皆さん方の意見を聞き活力のあるまちづくりを進めている。診療所の着工、こざくら荘の増築など町の施設の充実を今進めている。

質問 酪農畜産の経営安定と生産性の高い酪農業の確立、現時点での進捗状況は。
町長 基盤整備が一番大事だと思う。政権が交代して、少し出来なくなっている中、道・国に要請もしている。又、農協さんと打合せをしながら計画が上がってきたら町として検討していく。

質問 地元消費力の流出等で益々厳しい環境であり消費促進のために何か検討を。

町長 私自身も消費の流出等は懸念するところです。商工会50周年に向けての事業に対応しており、何か要望があつたら出来ることは、対応していく。

質問 新規産業の育成と雇用の創出は。

町長 新規産業は進んでいないのが実態です。具体的なことが出てきたら町としても協力する。

質問 引き続き町政を担当していく気持ちは。

町長 三期目に向けて意欲を持って、少しでも幌延町が発展するように努力したい。

質問 ほろのべ町自律プランの計画達成率は。

町長 自律プランは自助・共助・公助の考え方に基づき協働のまちづくりによって地域の課題を解決していくことを目指してきた。

町民の皆様痛みを伴う施策の見直し予算の削減などご理解と協力を得て単独自律の基礎を固めることができたが研究・検討の段階で止まっているものもあり数字を用いて率では表現できない。

質問 ほろのべ町自律プランの計画で着手できなかった事業は何か。

町長 行政パートナー制度、人事評価制度、酪農経営の高度化(法人化)、コミュニティビジネス、地域通貨、バイオマスエネルギー、シババー人材センターなどが着手できませんでした。

質問 まちづくりや行政改革に関する委員会、審議会の数と活動状況は。

町長 町民参加の手続きとして、現在のところ行政改

革推進委員会、安全で安心なまちづくり推進委員会は年1〜2回程度、北星園民営化検討審議会は今まで4回の開催となっている。

一般公募の参加が少ない現状ではあるが町としての情報の提供に努力し行政と町民がこれを共有し議論を深めていきたい。

質問 ほろのべ町自律プランの最大の成果と今後の課題は。

町長 町民の皆様との議論を通して住民・地域・行政の役割分担、協働のまちづくりの必要性について相互理解が深まった。

今後の課題は参加・協働の連携を実践し高めるための手法の選択・使命感・行動力の向上が必要と考える。今後の自律プラン作成に関しては第5次総合計画との兼ね合いもあるが、幅広く町民皆様の意見を聞いて平成22年度からの新しい自律プランを作成したい。



西澤 裕之

Q、新たに宅地を造成し分譲をする考えがあるか。

A、市街中心地の民地などを有効活用してほしい。

Q、人事異動の考え方や基準は。

A、何年といった判断ではなく、適材適所に配置する。

Q、グループ制の機能が発揮できているとは思えないが。

A、少人数で最大の効果が得られるよう業務している。

質問 平成17年度に行った宅地分譲からこの間、新たにその需要があると聞くが。

町長 現時点では考えていない。市街地に空き地が点在している状況や町並みを考慮すると民地の有効活用を考えると、更に大勢の方の要望があれば再度町有地の中で検討することも考える。

の仕事に追われている状況でグループ内の情報共有ができていないのでは。

町長 少ない職員の中ではグループ制でやっていくことが一番望ましいと思う。

副町長 広く浅く行政能力を身につけて、担当者がいない場合でも住民に対応していけるようにする。

質問 自律プランの計画よりも職員の数削減されているが今の状況をどう考えているか。

副町長 類似団体と比較するとまだ多い状況にあるが、事務職的には限度にきていると思う。民間の活用や雇用のあり方を検討し、改めて策定する行革計画プランの中で議論していきたい。

質問 職員の数減り個々



役場庁舎 1階風景



吉原 哲男

Q、基幹産業の酪農UPUPUP

質問 (現状) 町長は日頃から幌延町の基幹産業は酪農と言っているが、最近の酪農情勢は非常に厳しい状況にあります。農家戸数、乳牛、牛乳の量が減少の一途をたどる事が予想されるがこの事をどう考え、どのような対策を講じるのか。

町長 (対策) 大変厳しい状況と認識している。対策としては、生産基盤の整備を通じて経営の安定を図り、農協をはじめとする関係機関と協議、協力しながら、生産性の高い酪農の確立を図る。

質問 (将来の展望) 町長は幌延町の酪農について、将来どのような形が望ましいのか、またどのような展望を描いているのか。

町長 何と云っても後継者問題が重要である。ここ数年離農者が増えていることもあり、その対策として法人化を検討しているのも一つの手法又問寒別で行われているTMR(完全混合飼料)、これに刺激され他の農家も、大型農業経営に徐々に近づいて来ている。今後農協からいろいろな要請があればこれに添えていきたい。



齊賀 弘孝

Q、農協も宗谷総合振興局が望ましいか。

A、民間の経済である農協の考えにお任せする

質問 支庁制度改革が、町民や経済団体、そして観光にどう今後振興発展に寄与

するものと考えてるか。

町長 町民の生活圏や医療は稚内市を中心に結びつき

質問 (過重労働の解消) 最近乳牛の増加に伴う過重労働が指摘されているこれらの解消のため、育成センターの建設等の考えはないのか。

町長 町独自で考えることが果たしていいのかと云う考えがある。農協で農業振興計画もできたとし、農協内の農業酪農支援対策委員会もあるの、理事会の総意の下で計画書等を町の方に提出されるよう伝えている。

質問 (今後の取り組み) 育成センター、TMRセンターの用途を今任期中につけていただきたいと思うが。

町長 今後農協と少し具体的に協議しながら関係機関と相談しながら進めていきたい。

が強いと認識している。これに行政圏が一致することで一体感や利便性が向上するし、経済面では酪農を基幹産業とし、土地改良技術流通などへ波及効果、留萌と宗谷を繋ぐ地理的条件を活かし、成長が期待できる。観光面では宗谷圏になる事で連携・交流が深まり地場

産品を使用した商品開発のPR拡大に努めれる。

質問 幌延酪農は留萌地区の農業団体であるからと要請していただけるのか。

町長 私も職員も若干は戸惑いもあるが、4月1日からスタートしてみなければ分からない部分もある。不都合の点は、解決できるものは、解決していきたい。

質問 今現在の話では、院長さんはいくつまで仕事をしていただけなのか。

町長 定年を延長して65歳まで勤務をお願いしていて、あと3年で定年である。

質問 今一生懸命現場で指揮している院長先生がいる中で不謹慎であるが、あと3年、それ以降も健康に支障なければ続投願いたいのが確保難しい中、どう対策しているのか。

町長 院長先生の事を考えると2人体制でもいいと思つていますが、院長先生は健康に自信があるとも言つてますし一人体制で行けるという考えも強いので、院長の意向を尊重してまいります。



悟 Q、幌延町の酪農・商工業における将来像について
見 A、明るく元気な酪農、商工業者の知恵と工夫に期待する

質問 酪農について具体的な展望はどうか。

町長 様々な形態があると思う。法人化や個人農家など、それぞれの実情で経営スタイルが確立されていくと思う。

質問 新規就農や農業支援策は今までも質問して来たが。

町長 農協が考えること。

質問 幌富バイパスが出来て稚内との交通の便は良くなるが、ストロー効果でますます地元金が落ちないのではないか。

町長 懸念される問題。原動力機構に期待している。

質問 原子力機構の地元発注額はいくらか。

町長 5億円。毎年減っているのでは

はないか。

町長 減ってきている。

質問 5億円の仕事があるのに何故もうけが少ないのか。

町長 売り上げがあればもうかる時ではない。

質問 保育所(幌延)の申し込みが多く苦心していると思うが。

町民課長 今後数年間については60名程度で続くものと思つている。

質問 公営住宅の宮園団地など高い家賃の空き室が目立つが。

町長 公営住宅法と建てた年数で家賃が決まるので、どうしようもない。

経済課長 去年建てた所については、今公募している。

質問 町づくり事業を活用して新産業の育成と雇用を創出するのは町長の選挙公約だが実状はどうか。

町長 平成18年度以降希望者が無い。もっと利用しやすい形を考えたい。



議会の動き

- 1月8日 ▼ 第53回議会 報発行特別委員会
- 1月19日 ▼ 第54回議会 報発行特別委員会
- 1月20日 ▼ 宗谷町議会 議長会総会(稚内市)
- 1月29日 ▼ 第1回臨時議会 厚生常任委員会
- 2月1日 ▼ 留萌管内町村議会 議長と市町村長との意見交換会(羽幌町)
- 2月22日 ▼ 第1回議会 運営委員会
- 第2回議会 文教委
- 第3回議会 厚生常任委員会
- 第4回議会 全協議会
- 2月23日 ▼ 西天北五町衛生施設組合議会
- 2月26日 ▼ 北留萌消防組合議会
- 3月1日 ▼ 留萌管内町村議会 議長会第2回臨時総会(羽幌町)
- 3月5~9日 ▼ 第2回定例会
- 3月5日 ▼ 第55回議会 報発行特別委員会
- 3月9日 ▼ 第2回議会 文教委
- 第3回議会 全協議会
- 3月10日 ▼ 第56回議会 報発行特別委員会
- 3月14日 ▼ 幌富バイパス開通式
- 3月15日 ▼ 第57回議会 報発行特別委員会
- 3月18日 ▼ 第58回議会 報発行特別委員会
- 3月30日 ▼ 第3回臨時議会 文教委
- 第4回議会 全協議会
- 4月2日 ▼ 第59回議会 報発行特別委員会
- 4月5日 ▼ 留萌管内町村議会 議長会定期総会(羽幌町)

編集にあたって

木々の芽も膨らみサロバツにも漸く躍動の季節を迎えました。

また入学式も終え真新しい制服で通学する新入生の姿からは何時の時代も元氣付けられる様な感じになりますね。

さて、議会報も毎月の編集に追われておりますが皆様へ常に議会の動きをお知らせしようとして頑張っております。また今回から3月定例会の予算特別委員会と9月の決算委員会の質疑について記名方式としました。

これからもより「見易く、分かり易く、親しみのある」議会報となる様研鑽を重ねてまいります。

皆様のご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集委員長 植村 敦
副編集委員長 無量谷隆
編集委員 菅原利彦
西澤裕之